

## 令和3年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	筑波大学	タイプ	B①
事 業 名	地球規模課題解決に資する教育政策マネジメント専門人材育成プログラム		
海外の相手大学	華東師範大学、韓国教員大学校、コンケン大学、マレーシア工科大学、バンドン工科大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、総合大学の強みを活かした複数の研究科によって、地球環境問題の解決に向け、文理融合・総合的なアプローチを可能とする人材育成の試みとして評価できる。国際化が順調に進み、東南アジア諸大学との豊かな実績を持つ筑波大学が、日中韓の3ヶ国に ASEAN のタイ、マレーシア、インドネシアを加えたコンソーシアムへと拡充を図り構想されたプログラムとして期待が持てる。また、全体の教育プログラムは体系的で良く練られており、学生が専門やテーマによって交流相手国やプログラムを選択できる「交流プログラム」システムは幅のある取組であり、良く工夫されているものと評価できる。

教育大学を前身とする筑波大学らしく、学生の教育的視点や心のケアを実施するといった、学生への配慮という点において優れている。特に、外国人学生の受入に関して、感染症に対する配慮等行き届いたサポート体制を整えており、これまでの実績を踏まえて充実した環境整備を図っている。また、教学マネジメントの体制が確立し、評価体制が構築されていることは、質保証という観点からも評価できる。

一方で、「地球規模課題解決に資する教育政策マネジメント専門人材育成プログラム」という名称であるが、内容としては、教育学コア、環境学コア、物質・材料科学コアに分かれ、交流する相手先大学や学部がコアごとに異なっているため、質の保証を伴った交流プログラムとしての実質化のプロセスが見えづらく、養成する人材像もやや曖昧である。この点については一層の可視化が望まれ、工夫が必要である。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。